

2027年度

学校推薦型選抜 募集要項

[公募制・指定校]

注意

高等学校長からの推薦書は[本学ウェブサイト](#)から所定の様式をダウンロードし、印刷の上、使用してください。



宮城学院女子大学

Contents

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）	P01-03
募集定員、試験日程一覧	P04
出願から選考結果通知までの流れ	P05
学校推薦型選抜（公募制）、学校推薦型選抜（指定校）	P06-09
インターネット出願の流れ	P10-11
ウェブ合否発表の利用方法	P12
納付金	P13
音楽科専門試験要項	P14-21
その他	P22

学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項

選考日当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス、インフルエンザ、麻疹等）に罹患し治療していない場合は、他の受験生や監督者等への感染の恐れがあります。該当する症状がある場合は、必ず入試広報課までご連絡ください。

学業特待生の選抜対象について

総合型選抜・学校推薦型選抜合格者が大学入学共通テストを受験し、所定の成績をおさめた場合に学業特待生候補者の対象とします。その場合は、当該学科への合格を確保したものとし、別途審査料を支払って、特待生申請手続きをしていただきます。

なお、大学入学共通テストでは、本学の大学入学共通テスト利用選抜（A日程）において入学予定の学科が指定している科目を満たすよう受験してください。

また、特待生枠には限りがありますので、申請をしても必ずしも認められるわけではありません。

申請手続き方法・申請書類などの詳細は、12月上旬に本学ウェブサイトに掲載する予定です。

宮城学院女子大学 共生のための多様性宣言

宮城学院女子大学は、本学に集うすべての学生の多様性と尊厳・人権を尊重します。年齢、信条、障害、エスニシティ、性的指向・性自認など、個人の特性や文化的背景を尊重し、そのための環境づくりに最善を尽くします。

本学では、2021年度より、本学で学ぶことを希望するトランス女性（戸籍上男性であっても性自認が女性である方）の受け入れを行っています。

受験時に配慮が必要な場合には本冊子のP22を確認し、事前にご相談ください。

また、入学後に合理的配慮が必要な場合には、入学前（3月後半）に学生相談・特別支援センターに相談することができます。



「共生のための多様性宣言」詳細はこちら



学生相談・特別支援センターの詳細はこちら

アドミッション・ポリシー（入学受入れの方針）

宮城学院女子大学では、次のような能力、意欲、目的意識などをもつ者を広く受け入れる。

1. 能力 「国語」、「英語」またはそれに準ずる科目・分野において、基礎的な読解力と表現力を身につけている。
世の中の出来事について、情報を収集し、考察し、説明する基礎的な能力を身につけている。
2. 意欲 人間および人間集団の多様性を理解しており、共生の在り方を模索する意欲を持っている。
それぞれの学科・専攻における専門分野に関して、興味や関心、学習意欲を持っている。
3. 目的意識 本学の教育方針を理解しており、本学でキャリア形成を含む自己実現を目指すことを強く希望している。
女性の生き方に対する強い関心と問題意識を持っている。
それぞれの学科・専攻の学びを生かして、社会貢献あるいは自己実現を果たすことを目指している。

現代ビジネス学部

◆現代ビジネス学科◆

1. 能力 「国語」、「英語」またはそれに準ずる科目・分野において、基礎的な読解力と表現力を身につけている。
世の中の出来事について、情報を収集し、考察し、説明する基礎的な能力を身につけている。
2. 意欲 人間および人間集団の多様性を理解しており、共生の在り方を模索する意欲を持っている。
ビジネス・パーソンとして活躍する希望を抱き、そのために必要なビジネス学の専門知識と知的能力を身につける学習意欲を有している。
本学科が推進するプロジェクト型学習の理念を理解し、理論学習にとどまらない実践的な活動に取り組む積極的な姿勢を有している。
3. 目的意識 本学の教育方針を理解しており、本学でキャリア形成を含む自己実現を目指すことを強く希望している。
女性の生き方に対する強い関心と問題意識を持っている。
急激に変化する現代社会の諸問題を自らの課題と受け止め、大学での学びを通して問題解決に向けて取り組む意識を有している。

教育学部

◆教育学科 幼児教育専攻◆

1. 能力 「国語」、「英語」またはそれに準ずる科目・分野において、基礎的な読解力と表現力を身につけている。
世の中の出来事について、情報を収集し、考察し、説明する基礎的な能力を身につけている。
2. 意欲 人間および人間集団の多様性を理解しており、共生の在り方を模索する意欲を持っている。
教育や保育に関連する専門的な学びに対する強い興味と関心、意欲を有していること。
3. 目的意識 本学の教育方針を理解しており、本学でキャリア形成を含む自己実現を目指すことを強く希望している。
女性の生き方に対する強い関心と問題意識を持っている。
保育・幼児教育の専門性を高め、幼稚園教諭一種免許状と保育士資格の取得を目指している。
認定心理士と社会福祉士の資格取得することと同時に、子どもの心と心の発達を理解、支援の方法を学ぶ明確な目的意識を有している。

◆教育学科 児童教育専攻◆

1. 能力 「国語」、「英語」またはそれに準ずる科目・分野において、基礎的な読解力と表現力を身につけている。
世の中の出来事について、情報を収集し、考察し、説明する基礎的な能力を身につけている。
幅広い教養と教科に関する高い専門性を修めるための基礎的学力をもっている。
2. 意欲 人間および人間集団の多様性を理解しており、共生の在り方を模索する意欲を持っている。
子どもの人格形成に影響を及ぼす教育という営みを探究することに強い関心を持っている。
子どもが主体的・協働的に学ぶ授業を展開できる実践的指導力を身につけようとする意欲を持っている。
3. 目的意識 本学の教育方針を理解しており、本学でキャリア形成を含む自己実現を目指すことを強く希望している。
女性の生き方に対する強い関心と問題意識を持っている。
教育のスペシャリストを目指そうとする目的意識を持っている。

◆教育学科 健康教育専攻◆

1. 能力 「国語」、「英語」またはそれに準ずる科目・分野において、基礎的な読解力と表現力を身につけている。
世の中の出来事について、情報を収集し、考察し、説明する基礎的な能力を身につけている。
2. 意欲 人間および人間集団の多様性を理解しており、共生の在り方を模索する意欲を持っている。
今日の子どもたちの抱える多様な健康問題に取り組み、子どもたちの健やかな成長と発達に寄り添っていくという意欲と情熱を持っている。
3. 目的意識 本学の教育方針を理解しており、本学でキャリア形成を含む自己実現を目指すことを強く希望している。
女性の生き方に対する強い関心と問題意識を持っている。
「教育」という、人間の成長発達を支える営みとそれに関わる仕事に強い関心を持っている。

生活科学部	
◆食品栄養学科◆	
1. 能力	「国語」、「英語」またはそれに準ずる科目・分野において、基礎的な読解力と表現力を身につけている。 世の中の出来事について、情報を収集し、考察し、説明する基礎的な能力を身につけている。 科学に興味を有し、化学と生物についての基礎的な知識を有している。
2. 意欲	人間および人間集団の多様性を理解しており、共生の在り方を模索する意欲を持っている。 食と健康への関心が高く、広範な食と人に関する強い学びの意欲を持っている。
3. 目的意識	本学の教育方針を理解しており、本学でキャリア形成を含む自己実現を目指すことを強く希望している。 女性の生き方に対する強い関心と問題意識を持っている。 栄養・食生活を核としたコミュニケーションを通して、人々の健康と幸福に寄与する仕事につきたいとの目的意識を有している。
◆生活文化デザイン学科◆	
1. 能力	「国語」、「英語」またはそれに準ずる科目・分野において、基礎的な読解力と表現力を身につけている。 世の中の出来事について、情報を収集し、考察し、説明する基礎的な能力を身につけている。
2. 意欲	人間および人間集団の多様性を理解しており、共生の在り方を模索する意欲を持っている。 生活文化・地域社会および、建築・インテリアなどに対する関心と問題意識を有している。
3. 目的意識	本学の教育方針を理解しており、本学でキャリア形成を含む自己実現を目指すことを強く希望している。 女性の生き方に対する強い関心と問題意識を持っている。 家庭科教員、学芸員、建築士、インテリアデザイナー、まちづくりの専門家等として社会に貢献することを目指している。
学芸学部	
◆日本文学科◆	
1. 能力	「国語」、「英語」またはそれに準ずる科目・分野において、基礎的な読解力と表現力を身につけている。 世の中の出来事について、情報を収集し、考察し、説明する基礎的な能力を身につけている。 現代まで受け継がれてきた日本のことばと文化、特に伝統的な言語文化について、基礎的な知識と読解力を有している。
2. 意欲	人間および人間集団の多様性を理解しており、共生の在り方を模索する意欲を持っている。 「国語」に関心がある。読書を好み、文章を書くことに興味がある。適切で的確な日本語運用能力を身につける意欲がある。 日本語や文学・演劇・映画等、日本のことばと文化に興味を持ち、これらに関する専門的で体系的な知識を修得する意欲がある。
3. 目的意識	本学の教育方針を理解しており、本学でキャリア形成を含む自己実現を目指すことを強く希望している。 女性の生き方に対する強い関心と問題意識を持っている。 国語科教員・日本語教師・記者・編集者・司書・学芸員等、日本のことばと文化に関する専門性を活かした職業に就き、社会の発展と文化の向上に貢献する意欲がある。
◆英語文化コミュニケーション学科◆	
1. 能力	「国語」、「英語」またはそれに準ずる科目・分野において、基礎的な読解力と表現力を身につけている。 世の中の出来事について、情報を収集し、考察し、説明する基礎的な能力を身につけている。 「英語」の基本的なしくみと働きを理解し、基礎的な意思疎通が可能な英語の運用力を身につけている。
2. 意欲	人間および人間集団の多様性を理解しており、共生の在り方を模索する意欲を持っている。 英語を中心に「ことば」に対する強い関心と興味を持ち、運用能力を高めたいと考えている。
3. 目的意識	本学の教育方針を理解しており、本学でキャリア形成を含む自己実現を目指すことを強く希望している。 女性の生き方に対する強い関心と問題意識を持っている。 多様な文化の諸相に関心があり、それを理解するための客観的かつ複眼的な視野を養いたいと考えている。 相手を理解する力、自分の考えを伝える力を身につけ、自分と異なる価値観を持つ人と自信をもって意見の交流ができる人物になり、地域社会や国際社会との架け橋になることを目指している。

学芸学部

◆人間文化学科◆

1. 能力 「国語」、「英語」またはそれに準ずる科目・分野において、基礎的な読解力と表現力を身につけている。
世の中の出来事について、情報を収集し、考察し、説明・発信する基礎的な能力を身につけている。
2. 意欲 人間および人間集団の多様性を理解しており、共生の在り方を模索する意欲を持っている。
日本やアジア、ヨーロッパの歴史、または現代の文化、社会などを学ぶことに強い意欲を持つ。
メディア業界や国際舞台で活躍したり、教員や学芸員といった専門職に就くために必要な知識・技能等を獲得する学びに積極的に取り組む意欲を持つ。
3. 目的意識 本学の教育方針を理解しており、本学でキャリア形成を含む自己実現を目指すことを強く希望している。
女性の生き方に対する強い関心と問題意識を持っている。
問題を発見し解決する能力、情報発信力、コミュニケーション能力を身につけることを強く希望する。

◆心理行動科学科◆

1. 能力 「国語」、「英語」またはそれに準ずる科目・分野において、基礎的な読解力と表現力を身につけている。
世の中の出来事について、情報を収集し、考察し、説明する基礎的な能力を身につけている。
文章を読み解くことおよびデータを読み取ることについて、基本的な能力を持っている。
2. 意欲 人間および人間集団の多様性を理解しており、共生の在り方を模索する意欲を持っている。
積極的にコミュニケーションをとろうとする姿勢を持っている。
人間の心や行動に関心を持ち、それらを客観的に考える力、的確に表現する力を獲得する意欲がある。
3. 目的意識 本学の教育方針を理解しており、本学でキャリア形成を含む自己実現を目指すことを強く希望している。
女性の生き方に対する強い関心と問題意識を持っている。
実証と実践に重点を置いて心理学を学び、自ら積極的に知識や経験を積み上げようとする目的意識を持っている。

◆音楽科◆

1. 能力 「国語」、「英語」またはそれに準ずる科目・分野において、基礎的な読解力と表現力を身につけている。
世の中の出来事について、情報を収集し、考察し、説明する基礎的な能力を身につけている。
演奏や作曲の技能向上に向けて、継続的な練習に取り組むことができる。
2. 意欲 人間および人間集団の多様性を理解しており、共生の在り方を模索する意欲を持っている。
音楽の実践的・理論的基礎の習得に、体系的に取り組む意欲を持っている。
3. 目的意識 本学の教育方針を理解しており、本学でキャリア形成を含む自己実現を目指すことを強く希望している。
女性の生き方に対する強い関心と問題意識を持っている。
学びの中で得た知識や技術、社会性を活かせる仕事に就きたいと考えている。

募集定員

入試種別	区分	現代ビジネス学部	教育学部教育学科				生活科学部		学芸学部			
		現代ビジネス学科	幼児教育専攻	児童教育専攻	健康教育専攻	食品栄養学科	生活文化デザイン科	日本文学科	英語文化コミュニケーション学科	人間文化学科	心理行動科学科	音楽科※1
入学定員		95名	90名	50名	50名	100名	60名	100名	70名	35名	80名	20名
総合型選抜	I 期	15名	15名	5名	5名	15名	10名	18名	12名	5名	15名	5名
	II 期	2名	2名	1名	1名	2名	2名	2名	2名	1名	2名	1名
学校推薦型選抜※2 (公募制・指定校)		35名	37名	15名	20名	35名	18名	35名	30名	17名	35名	5名
一般選抜	A日程 (前期)	15名	15名	10名	8名	20名	10名	15名	6名	3名	10名	2名
	A日程 (後期)	10名	5名	5名	4名	10名	5名	10名	6名	3名	6名	2名
	B日程	4名	4名	4名	2名	4名	5名	4名	5名	2名	4名	2名
大学入学 共通 テスト 利用選抜	A日程	10名	8名	7名	7名	10名	6名	12名	5名	2名	5名	1名
	B日程	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	1名	2名	1名
	C日程	2名	2名	1名	1名	2名	2名	2名	2名	1名	1名	1名

※1 音楽科は、器楽コース(ピアノ、オルガン、ヴァイオリン・ヴィオラ、チェロ、コントラバス、フルート、オーボエ、クラリネット、サクソフォーン、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、打楽器)、声楽コース、作曲コースがあります。

※2 学校推薦型選抜の募集定員には、指定校及び併設の宮城学院高等学校からの推薦を含みます。

選考の結果、学力等が本学の求める水準に満たないと判断される場合、合格者数が各入学者選抜区分の募集定員を下回る場合があります。

試験日程一覧

入試種別	区分	出願書類提出期間	選考日・試験日		合格発表	入学手続
学校推薦型選抜 (公募制・指定校)		2026年11月4日(水) ～11月11日(水)必着	11月21日(土)		12月1日(火)	2026年12月2日(水) ～12月11日(金)
一般選抜	A日程 (前期)	2027年1月5日(火) ～1月23日(土)必着	2月4日(木)	音楽科 専門試験: 2月3日(水)	2月12日(金)	第一次手続 2027年2月15日(月) ～2月24日(水)
	2月5日(金)		第二次手続 2027年2月26日(金) ～3月8日(月)			
	B日程	2027年2月15日(月) ～2月27日(土)必着	3月6日(土) ※音楽科専門試験も同日		3月10日(水)	2027年3月11日(木) ～3月17日(水)
大学入学 共通 テスト 利用選抜※3	A日程	2027年1月5日(火) ～1月23日(土)必着	音楽科専門試験: 2月3日(水)		2月12日(金)	第一次手続 2027年2月15日(月) ～2月24日(水)
	B日程	2027年2月15日(月) ～2月27日(土)必着	音楽科専門試験: 3月6日(土)		3月10日(水)	第二次手続 2027年2月26日(金) ～3月8日(月)
	C日程	2027年3月8日(月) ～3月15日(月)必着	音楽科専門試験: 3月23日(火)		3月24日(水)	2027年3月25日(木) ～3月29日(月)

※3 大学入学共通テスト利用選抜に出願する場合は、2027年1月16日(土)・17日(日)に行われる大学入学共通テストを受験してください。

出願から選考結果通知までの流れ

1. 事前準備（高等学校内で推薦されることが決定したら、以下の流れで事前準備をしてください。）

- ・本募集要項で、出願期間や出願に必要な書類等を確認してください。
- ・調査書等出願書類を揃えてください。（調査書は発行まで時間がかかる場合がありますので、高等学校等発行機関へ確認してください。）
- ・インターネット出願に必要な環境やデータ等を確認のうえ、準備してください。

2. 出願

- ・インターネット出願の流れ(P10～)をご確認ください。顔写真の登録、入学検定料の支払手続も同サイトで行います。
- ・インターネット出願サイトから「志願票・宛名ラベル」を印刷してください。
- ・本学ウェブサイトから「志願理由書」「活動報告書・学修計画書」を印刷し、自筆(黒のボールペン)で記入してください。

※高等学校長からの推薦書は本学ウェブサイトから所定の様式をダウンロードし、印刷の上、使用してください。

※音楽科へ出願する場合は、音楽科専門試験にかかわる書類も同封してください。

※出願後に志願学科を変更することはできません。

3. 出願書類の郵送（11月11日(水)必着）

- ・市販の角2封筒に「宛名ラベル」を貼り、出願に必要な書類を封入してください。
- ・郵便局の窓口から、「速達・簡易書留」郵便で出願書類を郵送してください。
なお、高等学校でまとめて郵送する場合は、高等学校の指示に従ってください。
- ・本学窓口への持参は受け付けていません。

4. 受験票の発行

- ・「受験票」はインターネット出願サイト「マイページ」から印刷し、選考日に持参してください。

5. 選考の実施

- ・選考方法は学科により異なります。詳細はP08をご確認ください。

6. 選考結果の通知

- ・選考結果はウェブ合否発表(P12)で確認してください。

学校推薦型選抜(公募制)

出願資格

次の条件を満たす女子で、出身高等学校または中等教育学校長が適当と認めて推薦し、合格の際には本学(志願学科)への入学が確実な方とします。

①2027年3月高等学校または中等教育学校卒業見込みの方。

教育学科(幼児教育専攻)、英語文化コミュニケーション学科、人間文化学科、心理行動科学科の場合は、高等学校または中等教育学校を卒業した方で、本学入学時に卒業後5年以内の方の出願を認めます。

②次の各学科の要件を満たしている方。

学部	学科	評定平均値	高等学校での履修要件等
現代ビジネス学部	現代ビジネス学科	3.5以上	なし
教育学部	教育学科 幼児教育専攻		
	教育学科 児童教育専攻		
	教育学科 健康教育専攻		
生活科学部	食品栄養学科		理科のうち、「化学基礎」、「化学」、「生物基礎」、「生物」から6単位以上修得(修得見込み含む)していること。※
	生活文化デザイン学科		なし
学芸学部	日本文学科		
	英語文化コミュニケーション学科		
	人間文化学科		
	心理行動科学科		
	音楽科		

※一部関連する科目の単位の振替を認める場合があります。詳しくは、入試広報課にお問い合わせください。

出願期間

インターネット出願登録期間	出願書類提出期間
2026年10月28日(水)～11月10日(火)	2026年11月4日(水)～11月11日(水) 必着

出願書類

出願書類は、市販の角2サイズの封筒に入れ、封筒の表に宛名ラベルを貼り、必ず出願書類が全て揃ったことを確認してから速達・簡易書留で郵送してください。

・志願票・宛名ラベル	インターネット出願サイトで入学検定料の支払完了後、マイページから「志願票・宛名ラベル」をダウンロードして印刷してください。
・志願理由書 DL	本学ウェブサイトから所定の様式をダウンロードし、A4判用紙の片面に印刷の上、必ず本人が自筆(黒のボールペン)で記入してください。
・活動報告書・学修計画書 DL	
・高等学校長の推薦書 DL	本学ウェブサイトから所定の様式をダウンロードし、A4判用紙に印刷の上、使用してください。
・調査書	出願日前3ヶ月以内に作成され、交付元で厳封したもの。
・音楽科専門試験にかかわる書類(音楽科のみ) DL	音楽科に出願する方は、本学ウェブサイトから「音楽科専門試験曲目届出票」をダウンロードし、演奏する曲の楽譜のコピーを添付して提出してください(詳細はP14～参照)。作曲コースの提出課題については、P21を参照してください。



(所定の様式は本学ウェブサイトからダウンロードしてください **DL**)

入学検定料 30,000円

いったん納入された検定料および提出された書類は、事由の如何にかかわらず返還いたしません。

受験票について

出願書類の受付期間終了後、受験票発行の通知がメールで届きます。インターネット出願サイトのマイページから「受験票」をダウンロードして印刷し、選考日当日に持参してください。選考日の3日前になってもメールが届かない場合は、必ず入試広報課にお問い合わせください。

受験票は本学から郵送しません。

選考日程

2026年11月21日(土) 受付9:00～(音楽科受験生は9:30までに受付を済ませてください)

スケジュール(面接時間はおおよその目安です)

学部	学科	試験スケジュール	
現代ビジネス学部	現代ビジネス学科	10:00～11:00 小論文	12:00～16:00 面接
教育学部	教育学科 幼児教育専攻	10:00～11:30 小論文	12:30～16:30 面接
	教育学科 児童教育専攻	10:00～11:30 小論文	12:30～16:00 面接
	教育学科 健康教育専攻	10:00～11:30 小論文	12:30～16:30 面接
生活科学部	食品栄養学科	10:00～11:30 小論文	12:30～16:30 面接
	生活文化デザイン学科	10:00～11:00 小論文	11:30～15:00 面接
学芸学部	日本文学科	10:00～11:00 小論文	12:00～16:00 面接
	英語文化コミュニケーション学科	10:00～11:00 小論文	11:30～16:00 面接
	人間文化学科	10:00～11:00 小論文	12:00～16:00 面接
	心理行動科学科	10:00～11:00 小論文	12:00～16:30 面接
	音楽科	10:00～16:00 音楽科専門試験／面接	
		9:45～10:00 注意事項の説明	

試験場 本 学（宮城県仙台市青葉区桜ヶ丘9-1-1）

選考方法

学部	学科	選考方法
現代ビジネス学部	現代ビジネス学科	書類選考、小論文（800字程度）、面接
教育学部	教育学科幼児教育専攻	書類選考、小論文（800字程度）、面接
	教育学科児童教育専攻	
	教育学科健康教育専攻	
生活科学部	食品栄養学科	書類選考、小論文（600～800字程度）、面接 小論文は、化学的・生物的事象についての解説と実験データをもとに客観的思考力を問う形式。
	生活文化デザイン学科	書類選考、小論文（800字程度）、面接
学芸学部	日本文学科	書類選考、小論文（800字程度）、面接
	英語文化コミュニケーション学科	書類選考、小論文（400字程度）、面接 小論文は、英文の内容を日本語で要約し、関連することについての意見を書く。英和辞典使用可。ただし、電子辞書等は不可。
	人間文化学科	書類選考、小論文（800字程度）、面接
	心理行動科学科	書類選考、小論文（800字程度）、面接
	音楽科	書類選考、音楽科専門試験、面接 音楽科専門試験については「音楽科専門試験要項」（P14～）参照。

- 書類選考は調査書の評定値を重視します。
- 原則として、書類選考20%、小論文（音楽科の場合は音楽科専門試験）50%、面接30%に換算し、それらの総合点で選考します。

受験上の注意

持参するもの

- ・受験票
- ・筆記用具（黒鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム）
- ・時計（時計機能だけを持つものに限る）
- ・英和辞典（電子辞書等は使用不可）※英語文化コミュニケーション学科を受験する場合

入室時間

- ・試験室には試験開始時刻15分前までに入室してください。
- ・試験開始後20分を経過してからの入室は原則として認められません。
- ・公共交通機関の遅れなど、不可抗力によって遅刻する場合は、必ず入試広報課に連絡してください。

その他

- ・試験室ではすべて試験監督者の指示にしたがってください。
- ・昼食が必要な方は必ず持参し、指定した時間・場所で食事をとってください。
- ・上履きは必要ありません。
- ・試験会場の下見はできません。
- ・不正行為を行った場合は失格となります。

合格発表

2026年12月1日(火)13:30(予定)

合否については、インターネットを利用した「ウェブ合否発表」(P12参照)を利用して確認してください。

また、発表日当日、高等学校長宛てに速達郵便で「選考結果通知書」を発送します。

※電話による問い合わせには一切応じられません。

入学手続

2026年12月2日(水)～12月11日(金)

入学手続きは「ウェブ入学手続サイト」を利用して行います。上記の期間内に「ウェブ入学手続サイト」から納付書をダウンロードし、「入学時納付金(参考:P13 2026年度)」を銀行窓口で一括納入してください。

ATM(現金自動預け払い機)は使用しないでください。

- ・ゆうちょ銀行からの振込みはできません。

入学手続の詳細については、「ウェブ入学手続サイト」に掲載する「入学手続要項」をご確認ください。

入学前学習課題について

本学では、総合型選抜合格者および学校推薦型選抜合格者に対して、大学入学後の学習にスムーズに適応していただけるよう、入学前の準備教育として学習課題を課します。詳細は合格発表後に通知します。

なお、音楽科においては、所定の学習課題に取り組むほか、入学までに基礎的な楽典の知識と視唱・聴音の能力を身につけられるよう積極的に学習してください。

「合格者の集い」開催について

本学では、主に総合型選抜・学校推薦型選抜等で合格された方を対象に、「合格者の集い」を開催します。日程等の詳細は合格発表後に別途通知します。

学校推薦型選抜(指定校)

出願資格

本学が指定する高等学校または中等教育学校を2027年3月卒業見込みの女子で、出身学校長が適当と認めて特に責任を持って推薦し、合格の際には本学(志願学科)への入学が確実な方とします。

なお、詳細については在籍する高等学校等に確認してください。

選考方法

学校推薦型選抜(公募制)に準じます。(出願手続、選考日程も同じ)

インターネット出願の流れ

出願サイト

本学ホームページ
からもアクセスできます。



STEP 1 事前準備

用意するもの

①出願登録環境

インターネットに接続可能なパソコン、スマートフォンまたはタブレット及び、用意した機器から接続できるプリンターを準備してください。プリンターが自宅にない場合、コンビニエンスストアのマルチコピー機でも印刷が可能です。

②出願サイトに登録する「メールアドレス」及び「顔写真」のデータファイル

普段から連絡の取りやすいメールアドレスを登録してください。顔写真データは、試験時の本人確認に使用するものを用意してください（正面を向いて上半身無帽、試験時間中に眼鏡をかける方は、眼鏡をかけた状態で撮影）。

③「調査書等提出書類」及び「郵送用封筒」

提出書類は入試ごとに異なる場合があります。募集要項等で必ず確認してください。

郵送用封筒は市販の「角2」サイズのものを使用してください。

STEP 2 出願サイトにアクセス

本学ウェブサイトに入学検定料払込期間中「インターネット出願サイト」へのリンクを設置します。

STEP 3 マイページを作成

①メールアドレスを登録

メールアドレスを画面の指示に従って入力し送信します。送られてきたメールのリンクから登録ページへアクセスし、「サイト利用規約」及び「個人情報の取扱い」に関する条項を確認・同意のうえ、パスワードを登録してください。マイページが作成されます。

②顔写真データおよび基本情報を登録 ※JIS第一水準文字のみ入力可能です。

マイページにログイン後、顔写真データ及び基本情報（志願者名、生年月日、出身校等）を登録してください。

【写真データの登録手順】

①「ファイル選択」から顔写真データのファイルを選択してください。

・アップロード可能なファイル形式 ⇒ JPEG、PNG、BMP、GIF形式

・アップロード可能なファイルサイズ ⇒ 3MB以内

※推奨画像サイズは縦幅600ピクセル・横幅450ピクセル、縦横の比率4:3です。

②必要に応じて顔写真データを回転、移動、拡大、縮小して、切り抜き枠（青線）に合わせてください。

③「アップロード」ボタンをクリックして、顔写真データを登録してください。

STEP 4 出願内容を入力

①志望内容を入力

入試種別や志望する学科・専攻など必要項目を選択してください。

②情報を入力

基本情報のほか画面に表示される項目を入力してください。顔写真と基本情報を既に登録している場合は、その情報が表示されます。表示された情報を修正・変更することができます。

③出願内容を確認

ここまで入力した内容を確認します。入学検定料の支払い完了後は入力したデータの変更はできません。間違いの無いよう十分確認してください。

【次のポイントには特に注意してください】

・住所の番地等が正しく入力されている。

・高等学校の学科が正しく選択または入力されている。

STEP 5 入学検定料の支払い

① 支払方法を選択

入学検定料の支払は以下のいずれかで行ってください。

クレジットカード／コンビニエンスストア／ペイジー（金融機関ATM／ネットバンキング）

※支払には入学検定料のほか支払手数料が必要です。支払方法によって手数料が異なります。

② 入学検定料を支払う

・クレジットカード

支払方法を選択する画面で必要な情報を入力してください。出願登録完了時に決済されます。

・コンビニエンスストア

出願登録完了画面で「お支払番号」等が画面及びメールで通知されます。選択したコンビニエンスストアで支払いをしてください。

・ペイジー（金融機関ATM／ネットバンキング）

出願登録完了画面で「お支払番号」等が画面及びメールで通知されます。選択した方法で支払いをしてください。

コンビニエンスストアまたはペイジーを選択した場合、支払い期限はお申込み翌々日の23:59までとなります。なお、出願期間最終日は当日の23:59までとなります。支払い期限を過ぎてしまった場合は、再度マイページから出願内容を登録してください。

支払い完了後、出願登録及び支払い完了を通知するメールが届きますので、内容を確認してください。

STEP 6 出願内容を登録

入力した出願内容及び支払い方法を確認し、登録ボタンを押して出願内容を登録します。同時に「出願登録完了メール」が送信されます。検定料の支払い方法がコンビニエンスストアまたはペイジーの場合、「お支払番号」等が出願登録完了画面及び申込完了メールに表示されます。

STEP 7 出願書類を郵送

① 志願票・宛名ラベルを印刷

入学検定料の支払完了後、マイページから「志願票・宛名ラベル」をダウンロードして印刷してください。

② 出願書類を郵送

「宛名ラベル」を市販の封筒（角2サイズ）に貼付し、必要書類をすべて同封して必ず速達・簡易書留で郵送してください。

STEP 8 受験票を印刷

出願書類の受付期間終了後、受験票発行の通知がマイページで登録した出願者のメールアドレスにメールが届きます。マイページから「受験票」をダウンロードし印刷してください。選考日の3日前になっても通知メールが届かない場合は、必ず入試広報課にお問い合わせください。

ウェブ合否発表の利用方法

- 1 スマートフォン・パソコン・タブレット端末で下記 URL を入力するか、QR コードを読み取ってください。

<https://go-pass.net/mche/mgu/>



←QRコードリーダーで読み取ってください。
QRコードの読み取りについては、各端末の取扱説明書を確認するか、各端末の提供元に確認してください。（本学へのお問い合わせには応じかねます。）

- 2 トップ画面で表示内容を確認してください。

- 3 個人情報の取扱いについて内容を確認してください。

- 4 受験番号（6桁）と生年月日（8桁）を入力してください。

- 5 合否結果が表示されます。
合格された方は本学ウェブサイトには設置する「ウェブ入学手続サイト」にアクセスし、手続きをしてください。



◀ウェブ入学手続サイト

本学ホームページからもアクセスできます。

注 意 事 項

- 当サービスでの発表は速報であり、正式な合否は大学から郵送される書類にて確認してください。
- サービス開始直後はアクセスが多くつながりにくい状態が予想されます。その場合は、しばらく時間を置いてからアクセスしてください。
- パソコンの性能やインターネットへの接続方法などで、表示に時間がかかる場合があります。
- 操作方法並びに合否の結果に関し、電話でのお問合せには応じかねます。
- パソコンのブラウザの設定によっては、画像のずれ・文字化けなどが発生する場合があります。

納付金

2027年度納付金に関しては入学手続要項に掲載いたします。なお、2026年度の納付金は以下のとおりです。参考としてご覧ください。

2026年度納付金明細表

科 目	現代ビジネス学部		教育学部			生活科学部		学芸学部			
	現代ビジネス学科	教育学科 (幼児教育専攻)	教育学科 (児童教育専攻)	教育学科 (健康教育専攻)	食品栄養学科	生活文化デザイン学科	日本文学科	英語文化コミュニケーション学科	人間文化学科	心理行動科学科	音楽科
入学時納付金	入学金	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000
	授業料	390,000	404,000	404,000	404,000	446,000	426,500	390,000	390,000	390,000	502,000
	演奏実技運営費										159,000
	実習料	15,000	6,000	6,000	6,000	8,500	20,000	13,000	17,000	12,000	10,000
	楽器使用料										17,500
	施設設備資金	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	152,500
	グループ研修費	0	14,000	3,000	3,000	3,000	1,500	2,000	4,000	12,000	2,000
	循環器等検査料	4,180	11,220	4,180	11,220	4,180	4,180	4,180	4,180	4,180	4,180
	大学後援会費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
	学友会費	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
後期納付金	学生会費	1,500	1,500	1,500	1,500	1,200	1,500	3,000	2,500	2,000	2,000
	学生災害掛金	3,300	3,300	3,300	3,300	3,370	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300
	計	772,480	798,520	780,480	787,520	824,750	815,480	773,980	779,480	781,980	1,100,980
	授業料	390,000	404,000	404,000	404,000	446,000	426,500	390,000	390,000	390,000	502,000
	演奏実技運営費										159,000
	実習料	15,000	6,000	6,000	6,000	8,500			17,000		10,000
	楽器使用料										17,500
	施設設備資金	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	152,500
	大学後援会費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
	計	520,000	525,000	525,000	525,000	569,500	541,500	505,000	522,000	505,000	846,000
年額合計	1,292,480	1,323,520	1,305,480	1,312,520	1,394,250	1,356,980	1,278,980	1,301,480	1,286,980	1,313,480	1,946,980
入学時納付金	第一次手続	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000
	第二次手続	532,480	558,520	540,480	547,520	584,750	575,480	533,980	539,480	541,980	860,980
	合計（一括）	772,480	798,520	780,480	787,520	824,750	815,480	773,980	779,480	781,980	1,100,980
	後期（10月）納付金	520,000	525,000	525,000	525,000	569,500	541,500	505,000	522,000	505,000	846,000
年額納付金合計	1,292,480	1,323,520	1,305,480	1,312,520	1,394,250	1,356,980	1,278,980	1,301,480	1,286,980	1,313,480	1,946,980

※2年次以降の納付金は、年額納付金額から入学金を引いた金額が目安です。

※授業料などの納付金以外に教科書代、資格取得に関わる実習費が別途必要になります。

音楽科専門試験要項

学校推薦型選抜 試験科目一覧

		専攻実技
器楽コース	ピアノ	Pf
	オルガン	Org
	弦楽器	ヴァイオリン・ヴィオラ
		チェロ
		コントラバス
	管楽器	フルート
		オーボエ
		クラリネット
		サクソフォーン
		ファゴット
		ホルン
		トランペット
		トロンボーン
		ユーフォニアム
		チューバ
	打楽器	Perc
声乐コース		Vo
作曲コース		Comp

すべての専攻において、志望動機等を確認する面接を行います。(10分程度)

注意事項

※願書提出時の注意

1. 曲目届出票に必要な事項を記入し提出すること。
2. 演奏するすべての曲(音階を除く)に関して、演奏する曲全体の楽譜のコピーを添付すること。ただし、Pfについては、コピーは楽譜冒頭1ページのみでよい。
Cl、Hr、Trp、Tuba、Percの⑥については、楽譜のコピーを提出する必要はない。
印刷が明瞭であれば、コピーのサイズ等は自由でよい(製本の必要はない)。氏名は記入しないこと。
3. 声乐コースに出願する場合は、伴奏用楽譜を添付すること。1ページのサイズをA4版とし、所定の方法(P21参照)にしたがって製本すること。氏名は記入しないこと。
4. 作曲コースの⑥または⑦に出願する場合は、所定の方法(P21参照)にしたがって自作曲の楽譜、または音源を提出すること。

※受験上の注意

- オルガン専攻をパイプオルガンで受験する場合、本学のパイプオルガンで練習することができる。
詳細については、出願受付後に連絡する。
- 弦楽器専攻、管楽器専攻を受験する場合、楽器を持参すること。
- 弦楽器専攻(コントラバス)を受験する場合、本学のコントラバスを使用できる。希望する場合は、曲目届出票の該当欄に○印をつけること。
- 管楽器専攻(サクソフォーン)を受験する場合、アルトサクソフォーンで受験すること。
- 打楽器専攻を受験する場合、本学のマリンバを使用すること。
- 打楽器専攻を⑥で受験する場合、小太鼓を持参すること。スタンドは本学のものを使用できる。やむを得ない理由で小太鼓を持参できない場合、本学の小太鼓を使用できる。希望する場合は、曲目届出票の該当欄に○印をつけること。
- 作曲コースを⑧で受験する場合、定規の使用を認める。

器楽コース

ピアノ専攻

Pf	(a) (b)いずれも暗譜で演奏し、繰り返しは省略すること。
	(a) 下記の練習曲集の中から1曲を選択し演奏すること。
	● Czerny : 50番練習曲 作品740 ● Clementi=Tausig : グラドス・アド・バルナッスム
	● Cramer=Bülow : 60の練習曲 ● Moszkowski : 15の練習曲 作品72
	● Chopin : 練習曲 作品10(ただしNo.3、No.6は除く)
	● Chopin : 練習曲 作品25(ただしNo.7は除く)
	(b) 下記の作曲家によるソナタの中から1曲を選択し、第1楽章または終楽章を演奏すること。
	● J.Haydn ● W.A.Mozart
	● L.v.Beethoven(ただし、作品49の1と2、および作品101以降のものは除く)

オルガン専攻

Org	①②のいずれかを選択し、受験すること。
	①パイプオルガンで受験する場合
	17～18世紀の作曲家のオルガン作品から、次の(a) (b)の各1曲を選択し、演奏すること。
	(a) コラール作品：1曲 (b) コラール以外の作品：1曲
	暗譜の必要はない。また、手鍵盤のみの作品でもよい。
	コラールは繰り返しをし、(a) (b)2曲合わせて10分程度の演奏とすること。
	②ピアノで受験する場合
	J.S.Bach : 平均律クラヴィーア曲集 第1巻、第2巻より1曲を選択し、プレリュード、フーガの両方を暗譜で演奏すること。

弦楽器〔ヴァイオリン・ヴィオラ〕専攻

VnVa	ヴァイオリン専攻
	(a) (b)いずれも暗譜で演奏すること。
	(a) 下記(b)の自由曲と同じ調の、3オクターヴの音階と分散和音(スラーをつけて演奏すること。スラーのつけ方は自由とする)。
	(b) 演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。 複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。繰り返しは省略すること。
VnVa	ヴィオラ専攻
	(a) (b)いずれも暗譜で演奏すること。
	ヴィオラ専攻受験者はヴァイオリンでの受験も可。その場合は、ヴァイオリン専攻の課題曲(a) (b)を演奏すること。
	(a) 下記(b)の自由曲と同じ調の、3オクターヴの音階(スラーをつけて演奏すること。スラーのつけ方は自由とする)。
	(b) 演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。 複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。繰り返しは省略すること。

弦楽器〔チェロ〕専攻

Vc	演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。 複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。暗譜で演奏すること。繰り返しは省略すること。
----	--

弦楽器〔コントラバス〕専攻

Cb	(a) (b)いずれも暗譜のうえ、無伴奏で演奏すること。 (a) ト長調で2オクターヴの音階を以下の譜例の形で演奏すること(暗譜で演奏すること)。
	
	(b) 演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。 複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。繰り返しは省略すること。

管楽器〔フルート〕専攻

Fl	(a) (b)を演奏すること。 (a) 以下の譜例の形で音階(長音階と短音階)と分散和音を演奏すること(暗譜で演奏すること)。 長短全調の中より、当日指定する。 短調は和声的短音階で演奏すること。
	♩ = 92~120 
	(b) 演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。 複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。繰り返しは省略すること。

管楽器〔オーボエ〕専攻

Ob	(a) (b)を演奏すること。 (a) 2オクターヴの音階(長音階と短音階)をスラーで演奏すること(暗譜で演奏すること)。 長短全調の中より、当日指定する。短調は和声的短音階、旋律的短音階のどちらを演奏してもよい。 音域が高い場合は途中で折り返してもよい。
	(b) W.Ferling : 48 Übungen für Oboe Op.31 のNo.1からNo.12より任意の1曲を選択し、演奏すること。 無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。

管楽器〔クラリネット〕専攻

Cl	(a) (b)を演奏すること。 (a) Rolf Eichler : Scales for Clarinet 第1番(長音階と短音階)をスラーで演奏すること(暗譜で演奏すること)。 長短全調の中より、当日指定する。
	(b) Weber : Concertino für Klarinette und Orchester Es-Dur Op.26 無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。 当日に演奏する箇所を指定することがある。

管楽器〔サクソフォン〕専攻

Sax	(a) (b)を演奏すること。 (a) 須川展也編「サクソフォンのためのトレーニングブック」(音楽之友社)の51~52ページより、音階(長音階と短音階)をスラーで演奏すること(暗譜で演奏すること)。 長短全調の中より、当日指定する。 短調は和声的短音階で演奏すること。繰り返しは省略すること。
	(b) W.Ferling : 48 Etudes (Leduc版)より、任意の奇数番号1曲と、任意の偶数番号1曲を選択し、演奏すること。 無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。

管楽器〔ファゴット〕専攻

(a) (b)を演奏すること。

(a) 以下の譜例の形で音階(長音階と短音階)を演奏すること(暗譜で演奏すること)。
長短全調の中より、当日指定する。短調は和声的短音階、旋律的短音階のどちらを演奏してもよい。
〔譜例(F-Durの場合)〕

Fg

Moderato



(b) 演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。

複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。繰り返しは省略すること。

管楽器〔ホルン〕専攻

(a) (b)を演奏すること。

(a) 以下の譜例の形で音階(長音階と短音階)と分散和音を演奏すること(暗譜で演奏すること)。
長調 As-Dur、A-Dur、B-Dur、C-Dur の中より、当日指定する。
短調 a-Moll、b-Moll、h-Moll、c-Moll の中より、当日指定する。
短調は和声的短音階、旋律的短音階より、当日指定する。
〔譜例(実音B-Durの場合)〕

Hr

♩=60~80



(b) W.A.Mozart : Horn Concerto No.3 K447より第1楽章

カデンツァはなし。版の指定はない。

無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。

当日に演奏箇所を指定する。

管楽器〔トランペット〕専攻

(a) (b)を演奏すること。

(a) 以下の譜例を参考にして、音階(長音階と短音階)を演奏すること(暗譜で演奏すること)。
F-Dur と d-Moll、B-Dur と g-Moll、Es-Dur と c-Moll の中より、当日指定する。
短調は和声的短音階、旋律的短音階より、当日指定する。
音域が高い場合は途中で折り返してもよい。
〔譜例(実音B-Durの場合)〕

Trp

Moderato



(b) J.B.Arban : Arban's Complete Conservatory Method for Trumpet 所収

12の幻想曲とアリア No.3 Fantaisie Brillanteより主題と変奏曲 I・II

序奏はなし。版の指定はない。

無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。

管楽器〔トロンボーン〕専攻

(a) (b)を演奏すること。

(a) 以下の譜例を参考にして、音階(長音階と短音階)と分散和音を演奏すること(暗譜で演奏すること)。

長調 B-Dur、A-Dur、G-Dur、F-Dur の中より、当日指定する。

短調 g-Moll、f-Moll の中より、当日指定する。

短調は旋律的短音階で演奏すること。

音域が高い場合は途中で折り返してもよい。

〔譜例(B-Durの場合)〕

Tbn



(b) 演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。

複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。繰り返しは省略すること。

管楽器〔ユーフォニアム〕専攻

(a) (b)を演奏すること。

(a) 以下の譜例の形で音階(長音階と短音階)と分散和音を演奏すること(暗譜で演奏すること)。

F-Dur と d-Moll、B-Dur と g-Moll、Es-Dur と c-Moll、As-Dur と f-Moll、C-Dur と a-Moll、G-Dur と e-Moll の中より、当日指定する。

短調は和声的短音階、旋律的短音階のいずれかとする。

〔譜例(F-Durの場合)〕

Euph



(b) 演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。

複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。繰り返しは省略すること。

あるいはJoannes Rochut : Melodious Etudes for Trombone Book I
(Carl Fischer 版)のNo.1からNo.10より任意の1曲。

無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。

管楽器〔チューバ〕専攻

Tuba

(a) (b) (c)を演奏すること。

(a) 以下の譜例を参考にして音階（長音階と短音階）を演奏すること（暗譜で演奏すること）。

調号 $\sharp$ $\flat$ 共に3つまでの調より、当日指定する。

短調は和声的短音階、旋律的短音階のいずれかとする。

音域が高い場合は途中で折り返してもよい。

〔譜例(F-Durの場合)〕

 $\text{♩}=70$ 

(b) M.Bordogni : 43 Bel Canto StudiesのNo.1、No.4より、当日1曲指定する。

無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。

(c) V.Blazhevich : 70 Etudes Vol. I のNo.6、No.8より、当日1曲指定する。

無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。

打楽器専攻

Perc

④⑤のいずれかを選択し、受験すること。

④ マリンバのみで受験する場合

(a) (b)を演奏すること。

(a) 調号 $\sharp$ $\flat$ 2つまでの長音階、および短音階から当日指定する。2オクターヴ上下行のかたちで2回演奏すること（暗譜で演奏すること）。音型は自由とするが、短音階は1回目は和声的短音階、2回目は旋律的短音階で演奏すること。

(b) 演奏時間3分程度以上の自由曲を演奏すること。

複数楽曲も可。無伴奏で演奏すること。暗譜の必要はない。繰り返しは省略すること。

⑤ 小太鼓とマリンバを用いて受験する場合

(a) (b) (c)を演奏すること。

(a) 小太鼓による1つ打ち・2つ打ち・ロール $pp \text{ } \text{<} \text{ } \text{>} \text{ } ff \text{ } \text{>} \text{ } \text{<} \text{ } pp$

(b) 小太鼓

C.Wilcoxon : The All American Drummer 150 Rudimental Solos (Ludwig Music版)のNo.1およびNo.4を演奏すること。暗譜の必要はない。

(c) マリンバによる音階

調号 $\sharp$ $\flat$ 2つまでの長音階、および短音階から当日指定する。2オクターヴ上下行のかたちで2回演奏すること（暗譜で演奏すること）。音型は自由とするが、短音階は1回目は和声的短音階、2回目は旋律的短音階で演奏すること。

声楽コース

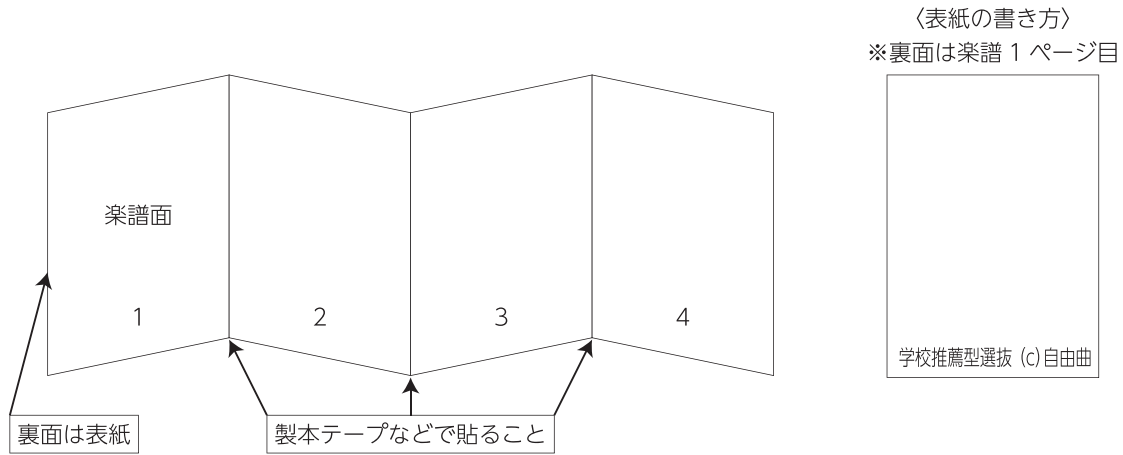
Vo	(a) (b) (c)いずれも暗譜で演奏すること。																			
	(a)コンコーネ：1曲 コンコーネ50番の11番から30番までの20曲の中から、1曲を選択し、母音「ア」で歌うこと。 出願時に曲番号、および「高声用」「中声用」「低声用」のいずれを歌うかを届け出ること。																			
	(b)選択課題曲 下記の20曲の中から1曲を選択し、原語で歌うこと。 <table border="0"> <tr> <td>● V. Bellini : Il fervido desiderio</td><td>● G. Bononcini : Deh, più a me non v'ascondete</td></tr> <tr> <td>● G. Caccini : Tu ch'hai le penne, Amore</td><td>● A. Caldara : Sebben, crudele</td></tr> <tr> <td>● M. A. Cesti : Intorno all'idol mio</td><td>● S. Donaudy : O del mio amato ben</td></tr> <tr> <td>● F. Gasparini : Caro laccio</td><td>● G. Giordani : Caro mio ben</td></tr> <tr> <td>● Ch. W. Gluck : O del mio dolce ardor</td><td>● G. F. Händel : Lascia ch'io pianga (ariaのみ)</td></tr> <tr> <td>● G. Paisiello : Nel cor più non mi sento</td><td>● S. Rosa* : Star vicino ※新説ではL. Mancina</td></tr> <tr> <td>● A. Scarlatti : Sento nel core</td><td>● F. P. Tosti : Sogno</td></tr> <tr> <td>● J. Brahms : Wiegenlied</td><td>● F. Schubert : An die Musik</td></tr> <tr> <td>● R. Schumann : Die Lotosblume</td><td>● 成田 為三 : 浜辺の歌 (1,2番)</td></tr> <tr> <td>● 信時 潔 : 行々子「沙羅」より</td><td>● 山田 耕筈 : かやの木山</td></tr> </table> (c)自由曲：1曲 原語で歌うこと。課題曲リストより選択してもよい。ただし、(b)で選択した1曲と重複しないこと。	● V. Bellini : Il fervido desiderio	● G. Bononcini : Deh, più a me non v'ascondete	● G. Caccini : Tu ch'hai le penne, Amore	● A. Caldara : Sebben, crudele	● M. A. Cesti : Intorno all'idol mio	● S. Donaudy : O del mio amato ben	● F. Gasparini : Caro laccio	● G. Giordani : Caro mio ben	● Ch. W. Gluck : O del mio dolce ardor	● G. F. Händel : Lascia ch'io pianga (ariaのみ)	● G. Paisiello : Nel cor più non mi sento	● S. Rosa* : Star vicino ※新説ではL. Mancina	● A. Scarlatti : Sento nel core	● F. P. Tosti : Sogno	● J. Brahms : Wiegenlied	● F. Schubert : An die Musik	● R. Schumann : Die Lotosblume	● 成田 為三 : 浜辺の歌 (1,2番)	● 信時 潔 : 行々子「沙羅」より
● V. Bellini : Il fervido desiderio	● G. Bononcini : Deh, più a me non v'ascondete																			
● G. Caccini : Tu ch'hai le penne, Amore	● A. Caldara : Sebben, crudele																			
● M. A. Cesti : Intorno all'idol mio	● S. Donaudy : O del mio amato ben																			
● F. Gasparini : Caro laccio	● G. Giordani : Caro mio ben																			
● Ch. W. Gluck : O del mio dolce ardor	● G. F. Händel : Lascia ch'io pianga (ariaのみ)																			
● G. Paisiello : Nel cor più non mi sento	● S. Rosa* : Star vicino ※新説ではL. Mancina																			
● A. Scarlatti : Sento nel core	● F. P. Tosti : Sogno																			
● J. Brahms : Wiegenlied	● F. Schubert : An die Musik																			
● R. Schumann : Die Lotosblume	● 成田 為三 : 浜辺の歌 (1,2番)																			
● 信時 潔 : 行々子「沙羅」より	● 山田 耕筈 : かやの木山																			

作曲コース

Comp	以下の①～③より一つを選択し、受験すること。
	①和声課題 転調を含まないバス課題1題。解答時間は60分。
	②作品提出 自作曲の楽譜を提出すること。 曲の長さは1分以上とする。 作品の形式・編成・ジャンルは自由とする。ただし、未発表のものに限る。 ③音源提出 自作曲を演奏した音源を提出すること。 曲の長さは1分以上とする。 作品の形式・編成・ジャンルは自由とする。ただし、未発表のものに限る。 ②または③で受験する場合、面接時に、提出された作品について、簡単な質疑応答を行う。

声楽コースの伴奏用楽譜について

- ①楽譜は1ページのサイズをA4版とし、コピーの鮮明な楽譜を提出すること。
- ②伴奏者が演奏しやすいよう、1曲ごとに下記の図のように製本すること。
- ③提出する楽譜の1ページ目の裏面は表紙とし、氏名は記入せず、「学校推薦型選抜(c)自由曲」等と記入すること。



作曲コースの作品提出、音源提出について

- 作曲コースを㊸で受験する場合は、自作曲の楽譜を提出すること。
楽譜は鮮明な自筆、またはコンピュータ浄書で提出すること。
楽譜の表紙には曲名を記入すること。氏名は記入せず、「学校推薦型選抜 作曲コース 作品提出」と記入すること。
コピーし、製本した楽譜を提出すること。
提出された楽譜は返却しない。
- 作曲コースを㊹で受験する場合は、自作曲の音源を提出すること。
ファイル形式はmp3とし、USB、または、Audio CDで提出すること。
提出されたメディアは返却しない。

受験者の氏名表記について

本学では、常用漢字等、本学のシステム上で使用可能な文字種の範囲で選考日通知書等を作成しますので、ご了承ください。

受験時特別配慮について

本学に入学を志願する方で、身体に障がいや疾病その他の理由により、受験上の特別な配慮を必要とする場合は、出願前に必ず入試広報課にご相談の上、下記の通り申請してください。

大学入学共通テストの受験に際し、特別措置を申請した人は必ず申請してください。

ただし、希望の特別措置のすべてに対応できるとは限りません。

申請期限	学校推薦型選拔出願開始日の1ヶ月前まで 2026年10月4日(日)
申請方法	下記の書類を入試広報課までお送りください。 ・特別配慮願(本学所定／本学ウェブサイトからダウンロードできます) ・障がい・疾病の場合、状況がわかるもののコピー(医師の診断書など) ・高等学校の所見(高等学校在籍者のみ)
問い合わせ先	宮城学院女子大学 入試広報課(022-279-5837)

なお、出願締め切り後、不慮の事故等のために受験上の特別な配慮が生じた場合は、入試広報課に連絡の上、速やかに申請書類を提出してください。申請にあたって本学のキャンパス見学を希望する場合はご相談ください。

注意

- この申請内容は、受験上における特別配慮措置のために確認するものであり、試験の合否結果については一切関係しません。
- 修学上の配慮については、合格発表後にあらためてご相談ください。

受験生ならびに保護者の皆様へ(個人情報保護について)

入学志願票および出願書類に記載された個人情報は、入学試験、募集活動に関する個人を特定しない統計の基礎データ、本学からのご連絡、入学後の学籍管理等教育運営に使用します。

なお、個人情報を使用する際は取り扱いに十分注意し、目的以外には一切使用いたしません。

出願書類送付・問い合わせ先

〒981-8557 仙台市青葉区桜ヶ丘九丁目1番1号

宮城学院女子大学

入 試 広 報 課

<https://www.mgu.ac.jp/>

E-mail:nyushi@mgu.ac.jp

TEL.022(279)5837

FAX.022(279)5978

2026年7月